



藤田選手のリフティングやオーバーヘッドシュートなどのプロの技を身近で見て、子どもたちは大興奮!

## 黒潮町出身プロ・藤田泰成選手 サッカースクールを開催

1月3日、土佐西南大規模公園  
大方地区球技場にて、黒潮町出身  
で、FC町田ゼルビア所属の藤田  
泰成選手のサッカースクールが行  
われました。NPO砂浜美術館の  
主催。

藤田選手が地元でイベントを行  
うのは今回が3回目。スクールに  
は、町内外から小学生約50人が  
参加し、一緒にウォーミングアッ  
プをした後、ミニゲームなどを行  
いました。子どもたちはいきいき  
とグラウンドを走り回り、目を輝  
かせて藤田選手のアドバイスを受  
けていました。(砂浜美術館)



団体戦こどもの部、優勝は「南郷7」、準優勝は「伊与喜・佐賀連合」でした。(写真はビーチ雪合戦)

## 楽しまんと!はた博 ファイナーレは「大感謝祭」と「砂浜大運動会」

昨年7月から、幡多6市町村が  
一体となって行ってきた高知・西  
南地域観光キャンペーン「楽しま  
んと!はた博」。そのラストを飾  
る「大感謝祭」が、12月28日に行  
われました。

午前7時、6市町村を走る「6  
の字駅伝」のランナーが三原村を  
出発。土佐清水市、大月町、宿毛  
市、四万十市の順で54人がたすき  
をつなぎ、黒潮町入野の浜のゴー  
ルを目指しました。  
メイン会場の入野・宮川公園で  
は、午前11時から幡多地域の食の  
販売やふるまい、もちつき体験や



はた博ファイナーレは5000発もの冬の花火。実行委員長と幡多6市町村長のクラッカーを合図に点火しました。

マグロの解体ショーを開催。  
また、午後1時からの「砂浜大  
運動会」には、幡多地域の方を中  
心に約350名が参加し、時々み  
ぞれが降る中、大人も子どもも砂  
まみれになって楽しみました。

夕方5時過ぎ、6の字駅伝最終  
ランナー・宮地敏行さんが会場へ  
到着。はた博の公式キャラクター・  
はたっぴーが6本のたすきを受け  
取り、6市町村の首長とともに砂  
浜へ移動。もち投げの後、カウ  
トダウンで冬の花火5000発を  
打ち上げ、半年間のキャンペーン  
を盛大に閉幕しました。

## 大方高校の「クリエコスマス」 土佐くろしお鉄道3駅で開催

幡多地域の高校5校が連携し、  
12月24日夕方、土佐入野駅、中村  
駅、宿毛駅で、エコをテーマにし  
たクリスマスイベントを開催しま  
した。大方高校で環境問題に取り  
組んでいる生徒会が企画し、今年  
初めて3駅同時に実施。

土佐入野駅では、大方高校生が  
廃油キャンドルや流木のツリーを  
飾り、同校保護者も協力し、豚汁  
やおにぎりなどを配布しました。  
また、日中に行われたクリエコ  
活動には、同校全校生徒と地域住  
民らが参加し、入野の浜周辺のご  
み拾いを行いました。



土佐入野駅前に飾った流木のクリスマスツリー。飾り付けは砂浜で拾ったゴミなどを再利用。